

気球船



第 219 号
平成 20 年 4 月
文 部 科 学 省
初 等 中 等 教 育 局
国 際 教 育 課
編 集 ・ 発 行
初 版 発 行 昭 和 62 年 12 月

海外子女教育総合HP: http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/main7_a2.htm

世界の窓

子どもたちの目に輝きを
～自分の夢を実現する子どもの育成～

パリ日本人学校
校長 清治信一

はじめに

4月7日、暖冬で桜もちらほら咲いていたパリ市内と学校所在地であるサンカンタン市に突然の降雪がありました。1990年に新設された校舎の壁の白さととけ込んで辺り一



面真っ白に雪化粧。大きなつぼみをもっていた桜も一休みです。

11日には、第36回小・中入学式が行われました。小学部30名、中学部15名の新入生を迎え、217名でスタートしました。

☆ ☆ ☆

○本物を目の前にした活動○

ヨーロッパ大陸の西側に位置する六角形の国フランスは、平野が広がる豊かな農業国であり、27の世界遺産を誇る国です。首都パリは、美術館（ルーブル・オルセー・ポンピドゥー）や凱旋門、シャンゼリーゼ通りなど文化芸術の都、観光都市として知られています。古代、中世とあらゆる時代を象徴する歴史的建造物がセーヌ川の両岸にびっしり集まっています。

「学校の教育課程に系統立てた社会見学を計画し、仏国にいる時でしかできない直接体験をさせたい」との願いから小学部1年生から中学部3年生まで、たくさんの体験活動・社会見学を実施しております。

地域の自然をたっぷり味わうために、サンカンタン池（四季の観察）・ボアダルシーの森（栗拾い）などで散策し自然を満喫しています。

文化活動と各美術館見学として、オルセー・ポンピドゥー・ルーブル・バルビゾン、グレー・シュル・ロワン（ミレーと黒田清輝の制作活動の場所）・オーベル・シュル・オーワーズ（ゴッホ晩年の活動場所）、国際機関と歴史的建造物では、ユネスコ本部・ベルサイユ庭園（ウォークラリー）などを実際に見学しています。パリの国立美術館は、毎月第一日曜日が無料で鑑賞することができるので、「家族で行ったよ」という声も聞かれますが、身近にあっても子どもたちは見学できていない実態もあります。「図工・美術の本にあった!」「もう何回も行った!」「今度家族で行ってみたい」と本物を間近で見た子どもたちの広がる欲求をより一層かき立てさせたいと考えています。

中学部の社会見学では、コンコルド広場の中央で班の発表を行いました。周囲には、オルセーやルーブル、凱旋門、アンヴァリッド、エッフル塔等、まだまだたくさんの建造物を前にしての発表です。なんと贅沢な社会見学（総合的な学習の時間）でしょう。ここフラ

ンスでしか味わうことのできない学習活動を、より充実させたいと考えております。



★ ★ ★
□皆様の支援があつての学校行事□

9月に第11回目を迎える「日本人学校まつり」が行われました。子どもたちに日本の祭り気分を少しでも味わってほしいとの願いから計画されました。午前の部は、日本の文化に触れる、縦割り集団での踊り（東京音頭）を通して1～6年生がふれあいながら楽しいひとときを過ごしました。午後は、中学部の模擬店（ゲーム・お化け屋敷）、子どもたちはとても楽しみにしていました。「遊びコーナー、ブロカント（バザー）、餅つき、各種



出店など多種多様な心づくしのイベントで、日本の祭り気分を味わいました。企画に当たった保護者の皆様、たくさんの品物（バザーのための）を提供してくださった各企業、ラグビー（全日本チームのコーチも参加）や手品、折り紙紙ヒコーキなどの体験講座や読み聞かせ会などが所狭しと行われました。地域の方々や保護者、関係機関の方々300人強の人々で盛り上がりました。日本の祭りを一

切経験したことのない子どもたちも、目を輝かせ参加していました。

◇ ◇ ◇
★保護者の方々に感謝

（通学バス運行委員）★

子どもたちの安全な登下校体制を確立するために、児童・生徒の送迎スクールバス運行委員会があります。本校では、1990年パリ市内より約25km離れた新校舎完成と同時に組織されました。バス運行委員会を保護者が組織・運営するというものです。現在、スクールバス4台（小学生）で運行されています。バスには、モニター（添乗者）と言ってバスを利用している児童生徒の保護者が必ず添乗することになっています。バスポイントでのバス遅延への対応や児童の乗車確認。事故による渋滞や想定できない遅れがあっても、随時学校と連絡を図り（学校で待機している職員の手配で状況に応じた細かな対応をする）安心して登下校できる配慮です。

さらに、細かな配慮として感心することは、各バスの添乗者（モニター）の方々の帰路は、バスでパリ市内まで送ることや、学校行事（授業参観や保護者面談、運動会など）の時にも、パリ市内から学校間の送迎も行っていることです。児童生徒だけでなく、保護者の方の利用まで含めて運行がなされています。このことから、児童生徒の在住するパリから遠く離れていても、有効なバスの利用が図られてきた結果、保護者の方々の活躍で安全な送迎が行われていることは、関係する方々が改善を重ねて、今まで培ってきたことが十分に反映されている証と実感します。

◎ ◎ ◎

パリ日本人学校の、ほんの一部を紹介いたしました。治安の問題で決して安心はできない状態を理解しつつ、保護者、関係機関の方々の支えがあつて実現できていることです。

常に、目を輝かせさわやかな挨拶が交わされる。「訪れる方々を温かく迎え、去りゆく人に思い出を」の見えない看板を掲げる学校づくりに、職員一同邁進しております。

杭州日本人学校 第一回入学式

杭州日本人学校
校長 多紀俊秀

ついに開校、杭州日本人学校

杭州日本人学校は、平成20年4月18日杭州商工クラブなど日系企業が設立母体となり、開校されたばかりの日本人学校です。中国華中には上海に続いて、4年前に蘇州日本人学校が開校しましたが、640万人ともいわれる大都市である杭州にはこれまで日本人学校がなく、多くの日本人がその設立を切望されていました。その願いが杭州商工クラブ大石一穂会長、設立準備委員会小林弘幸委員長など多くの方々のご尽力によりようやく実現の運びとなり、4月21日には栄えある第1回の始業式、入学式を挙行することができました。



記念すべき登校日 『2度とない入学式』

中学1年生2人に両手をひかれ、少し照れくさいけれど喜びいっぱいに入場する小学1年生。開校年、第一回入学式の新入生は小中合わせて3名となりました。会場の体育館では、来賓の皆様をはじめ、今日から杭州日本人学校の一期生になる2年生から8年生（中学2年生）の在校生10名と保護者、教職員の大きな拍手に迎えられました。杭州日本人学校のスタートは全校生徒13名と少ないですが、それだけにアットホームな雰囲気です。学校と家庭の関わりを大切にしながら子どもの学びと育ちをみんなで見守っていきたくと思っています。



1年生「佐藤悠妃（ゆうひ）さん」の作文

にゆうがくしき うれしかったよ。7ねんせいのみゆちゃんとはるかちゃんがつないでくれて、なかよくなったよ。



7年生「井上はるかさん」の作文

『入学式』

今日、私は「杭州日本人学校に入学しました。出来たてで、ピカピカの校舎にピカピカのグラウンド。これからここで学べるかと思うと、とてもドキドキしました。入学をするのは私を入れて3人。こんな体験は二度とない！と思いながら式が始まるのを待っていました。

入場すると、みんながとても温かく迎えてくれてうれしかったです。在校生が新入生のために言葉と歌をプレゼントしてくれたりしてすごうれしかったです。＜中略＞7年生として、小さい子をまとめたり、仲良くなれるように頑張っていきたいです。

7年生 「森田実由（みゆう）」さんの作文

『笑顔、あいさつ、大切なもの』

やっと登校日になったと、誕生して間もない学校に来た。昇降口に並ぶ笑顔で私の中のほんの少しの緊張の紐がほどけた気がした。＜中略＞朝、昇降口で笑っていてくれた先生たちはみんな廊下で会ってもあいさつをしてくれていたし笑っていた。誰にとっても「初めて」の校舎内で生徒に安心を分けられるのだから、校長先生が言っていたとおりに、「いい先生が集まってくれたな。」と思った。＜後略＞先生が笑顔でいること。生徒も笑顔でいること。あいさつすること。返すこと。無理な笑顔はいけなけれど、誕生した子をあやす時に笑顔を使うように、誕生したばかりの学校には大切なことだと思う。登校日の記念すべき一日目にもう学校の仲に溶け込み始めた私だった…。



深圳日本人学校第1回入学式を迎えて

深圳日本人学校

校長 三浦信宏

香港に隣接するここ深圳では、日本の定番の桜ではなく、ブーゲンビリアが新学期を彩ってくれました。夏を思わせる暑さの中、深圳日本人学校は、4月15日に着任式・始業式を、16日に第1回入学式を無事に終えることができました。ここまでこられましたのも、日本政府文部科学省・広州総領事館・深圳日本商工会をはじめ、準備委員会の皆様のご尽力によるところと感謝しております。



学校全景（1・2Fが学校）

校舎も机も何もかもが新しい深圳（新鮮？）日本人学校の初めの一步をお知らせいたします。出会ったばかりのみんなが、協力して創り上げた着任式・始業式・入学式の様子は以下のようなものでした。

「わあ、きれい。」「広ーい。」これは他の日本人学校から編入してきた子ども達の声です。当面仮校舎となるホテルを改築しての日本人学校ですが、内装は子どもたちの声にあるように、とても明るく清潔な校舎で、仮住いとはとても思えない立派なものです。



学校玄関

4月15日の始業式には、小学校2年から小学校6年まで25名の子どもたちが元気よく登校しました。翌16日には、小学校1年7名、中学校1年4名が入学し、全校児童・

生徒36名、教職員17名でのスタートとなりました。

着任式では、教職員17名全員が着任者。児童は25名全員が編入児童。顔見知りほとんどいない初対面の式という前例のない状況です。そこで、職員は自己紹介し、お迎えの言葉に代えて、子どもたちが今覚えたばかりの職員一人一人の名前を大きな声で呼びました。そして声をそろえて「よろしくお願ひします。」と初対面の挨拶です。子どもたちの声一つになって、先生方もうれしそうな笑顔で応えました。その後「さんぽ」の大合唱で歓迎してくれました。



着任式

つづいて始業式では、着任式のお礼に、今度は私が子どもたち全員の名前を呼びました。どの子も緊張しながらも、元気よく返事をすることができました。子どもたちと教職員がお互いに名前を呼び合うことから、学校の第一歩が始まりました。

その日は、入学式準備が予定されていました。4年生から6年生まで15名が、紙の花を折ったり、絵を描いたりと、一生懸命準備し、新入生に喜んでもらえるような温かい手作りの会場ができあがりました。



入学式準備 (児童・職員)

私は、過去に2回日本で新設校を経験してきました。しかし、今回はやはり勝手が違いました。物や時間が十分でないハンディの中、教職員・子どもたちの温かい思いが一つになる素晴らしさを目の当たりにしました。現地中国人の清掃員、警備員まで一緒になって準備をしている姿に、微笑ましさを感

じるとともに、とてもうれしいものを感じることができました。



入学式準備 (清掃員・警備員)

迎えて16日の入学式、稲垣日本人学校理事会理事長をはじめ、多くの来賓の方にご臨席を賜り、厳かに式が始まりました。新入生入場、国歌斉唱、入学児童生徒呼名、校長の話、来賓の祝辞と進んでいきます。「いよいよ学校が始まったのだ」という思いを感じたのは私のみならず、教職員、開校準備委員の皆様も同じだと思います。中学生に向けての式辞では、「みんなで深圳日本人学校を創っていきましょう。伝統を創り上げていきましょう」という話をしました。理事長からも、児童生徒、学校・保護者・地域が三位一体となって、よりよい学校づくりをしていきましょうと心強い応援の言葉をいただき、教職員一同思いを一層強くいたしました。



入学式

これまで多くの方のご努力で準備期間を終え、日本人学校として歩みだした本校です。今後は、先輩の各日本人学校にご指導をいただきながら、保護者・地域のご期待に応えられる学校になれるよう努力していきます。更なるご指導をいただけますようお願い申し上げます。



入学式

深圳は現在人口1200万人、経済特区としての発展を続けており、今も街のあちらこちらで、高層ビル建築が進んでいます。この発展する深圳の街に負けないように、新鮮な気持ちで学校を創っていきたいと思っています。

第1回入学式は、児童生徒・教職員、そしてそれを取り巻く人を含めての手作り入学式でした。この感激が次へのエネルギーになって、学校を動かしていつてくれるものと信じています。生まれたばかりの学校ですが、すでに大切な芽は顔を出して育ち始めていると実感しています。

外の日差しは強く、室内でも30度近い暑さです。新しい挑戦を胸に、亜熱帯の地深圳よりご報告いたします。



事務連絡

国際教育課の体制について

庶務・助成係

国際教育課の各係の所掌についてお知らせします。資料や情報の入手の際などに、お役立てください。

◎庶務・助成係

- ・課の文書、人事、福利厚生、予算及び経理に関すること。
- ・海外子女教育振興財団（教材整備、通信教育への補助）等への助成に関すること。
- ・海外子女用教科書に関すること。 等

◎企画調査係

- ・課の施策に関する企画立案、調査及び総合調整（国会等）に関すること。
- ・課の所管に係る法令に関すること。
- ・所管法人の監督に関すること。
- ・在外教育施設の認定・新設に関すること。
- ・私立在外教育施設に関すること。

◎在外教育施設指導係

- ・在外教育施設の管理運営に関すること（教職員派遣係及び企画調査係に属することを除く）。
- ・在外教育施設の教育指導に関すること。
- ・在外教育施設の安全対策に関すること。
- ・在外教育施設に対する調査（教育課程実施状況調査等）に関すること。
- ・在外教育施設の巡回指導に関すること。
- ・全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会に関すること。

◎教職員派遣係

- ・在外教育施設教員派遣事業に関すること（教職員給与係に属することを除く）。
- ・国際交流ディレクター派遣事業に関すること（教職員給与係に属することを除く）。
- ・国際教育文化交流推進校の指定に関すること。
- ・派遣教員等の服務に関すること。

◎教職員給与係

- ・在外教育施設派遣教員、国際交流ディレクター及び外国教育施設日本語指導教員の手当
- ・旅費及び福利厚生に関すること。

◎適応・日本語指導係

- ・海外から帰国した児童生徒についての施策に関すること。
- ・日本語指導が必要な外国人児童生徒についての施策に関すること
- ・中国等帰国児童生徒についての施策に関すること。

◎国際理解教育第一係

- ・初等中等教育における国際理解教育に関すること。
- ・初等中等教育における英語以外の外国語教育の振興に関すること。
- ・高校生留学の振興に関すること。
- ・初等中等教育に関する国際交流の振興に関すること。

◎国際理解教育第二係

- ・初等中等教育における英語教育の推進に関すること。
- ・語学指導等を行う外国青年招致事業(JET)に関すること。
- ・外国教育施設日本語指導教員派遣事業(REX)に関すること（教職員給与係に属することを除く）。

人事異動のお知らせ

庶務・助成係

このたび、4月1日付で人事異動がありましたのでお知らせいたします。

(転出)

金子 泰久 課長補佐
→ 特別支援教育課課長補佐

中野 宏栄 専門職（教職員派遣係）
→ 教職員課更新係長

九鬼 陽子 専門職
(外務省領事局政策課海外教育班)
→ 大臣官房文教施設企画部
施設助成課予算総括係長

佐藤 由郎 国際理解教育第二係長
→ 財務課公立共済係長

吉光 紗綾子 企画調査係
→ 大臣官房総務課
行政改革推進室管理係

佐藤 仁美 在外教育施設指導係
→ 高等教育局
私学部参事官付運営調査係

近田 由紀子 企画調査係
→ 浜松市立瑞穂小学校

野村 友里 国際理解教育第一係
→ 在米海外実務研修生

池長 嘉晴 国際理解教育第二係
→ 福岡県立福岡魁誠高等学校

白井 真紀 庶務・助成係
→ 初等中等教育企画課総務係

伊藤 拓郎 教職員派遣係
→ 退職（君津市役所）

(転入)

内藤 雷太 福島大学
総務グループリーダー
→ 課長補佐

小寺 和宏 児童生徒課
生徒指導室生徒指導第一係
→ 教職員派遣係長

安永 真生 教科書課検定調査第三係長
→ 専門職
(外務省領事局政策課海外教育班)

- 中山 由紀 内閣府政策統括官
 (共生社会政策担当) 付
 障害者企画第2担当主査
 → 専門職(国際理解教育第二係)
- 新井 慶子 東京学芸大学
 → 教職員派遣係
- 岩澤 亮輔 東京工業大学
 → 在外教育施設指導係
- 岡 峰生 広島大学
 → 企画調査係
- 是國 裕光 広島大学
 → 国際理解教育第一係
- 西村 久仁美 京都市立西京高等学校
 → 国際理解教育第二係
- 水流 妙子 児童生徒課企画係
 → 庶務・助成係
- (課内異動)
- 松永 佳子 企画調査係
 → 企画調査係長
 (併) 適応・日本語指導係長
- 平山 りか 国際理解教育第一係長
 → 国際理解教育第一係長
 (併) 国際理解教育第二係長

■■ 退任者挨拶 ■■

(※肩書は退任時のものです。)

国際教育課課長補佐 金子 泰久

4月1日付けで、特別支援教育課課長補佐を拝命いたしました。

国際教育課在職中は大変お世話になり、ありがとうございました。

国際教育課での勤務は、海外子女教育専門官時代を入れて、わずか1年2ヶ月の在任でしたが、皆様方のおかげで、なんとか憂いなく過ごすことができました。誠にありがとうございました。

しかしながら、短い期間での突然の異動で少々驚いたところです。課長、坂本専門官をはじめ、関係の方々と、これからの海外子女教育をどのようにしていくかを考えていこうする矢先の異動で誠に残念です。

在任期間中は、海外子女教育の仕事に加え、国際理解教育、外国人児童生徒の教育と、自分としては携わったことのない分野も、少しですが経験する機会をいただきました。

海外子女教育の業務の方では、ミラノ、ドバイ日本人学校での校長研の参加、ジェッダ、ナイロビ日本人学校の訪問と、それぞれに思い出深い経験をさせていただきました。それぞれの学校においては、校長先生をはじめとする派遣教員の皆様、現地のスタッフの皆様、学校運営委員会の皆様、保護者の皆様、在外公館の皆様の教育に対する熱い思いを感じることができ、関係の皆様に感謝するとともに、国際教育課の職員であることに誇りと感謝の念を抱いたものです。

文部科学省にあって、このように、まさしく教育の最前線に直結する部署はなかなかありません。

学校、先生方等との触れあいは、教育を肌で感じ、私たち文部科学省職員に、やるべきことを示唆いただける貴重な機会だと思っています。

さて、異動先の特別支援教育の分野では、ご存じのとおり、特別支援教育が昨年、法的に学校教育法に位置づけられ、その基本的な考え方、留意事項等が示され、特別支援教育の推進が行われているところです。特別支援学校、特別支援学級、通常の学級では、障害の程度の違いはあれ、子どもたちが一生懸命、勉学に励んでいるところです。そのような子どもたちにどのような支援ができるかを、もとより微力ながら、これからしっかり考えていきたいと思えます。また、この問題は、在外教育施設も同じだと思いますので、情報提供なりで支援できればと思います。

最後になりましたが、在外でのご勤務、生活は本当に大変かと思えます。くれぐれも健康に留意され、子どもたちのため、ご自身のためにがんばっていただき、大きな成果を携え、帰国されることを祈っております。

本当にお世話になり、ありがとうございました。

した。

**職員派遣係専門職
中野 宏栄**

4月1日付けで初等中等教育局教職員課教員免許企画室更新係長へ異動になりました。

国際教育課が海外子女教育課であった頃からお世話になっていました。長い分、たくさんの思い出と思い出があります。

海外子女教育や外国人児童教育について、実際に業務に携わるまで、これら分野に対する教育的課題について認識が不足していました。しかしながら、多くの方から指導、助言をいただくことで、自分自身の認識を新たに、課題解決に向けた取り組みにかかわれたのは、非常に有意義な経験でした。

昨年一年間、教員派遣事業を担当したことは、直接学校現場の先生方と接することが少ない文部科学行政にあって、派遣中の管理職の先生や、研修期間中に多くの先生方と直に対応することができ、貴重な体験だと思っています。また、赴任地でのご苦勞に負けることなく活躍されている先生方や、赴任前の研修で意欲にあふれる先生方に接することで、ずいぶんと励まされました。

これからは、教員免許更新制を担当することになりますが、(参考URL=http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm) 国際教育課で学んだことを生かしながら、派遣教員の方々の努力に劣らぬよう、職務に精励したいと思います。

最後になりましたが、海外子女教育、帰国・外国人児童生徒教育など国際教育の充実に願うとともに、派遣教員の皆様のご活躍とご健康をお祈り致します。

**外務省領事局政策課 海外教育班
九鬼 陽子**

文部科学省国際教育課より外務省に2年間出向し、派遣教員の先生方に関わる業務を担当しました九鬼と申します。このたび文部科学省に戻ることで、国内の小中学校の施設整備に関する業務を行う部署に異動となり

ました。

学校の運営や先生方の派遣に際し、在外公館の方々には様々にお力添えをいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

校長研究協議会や学校訪問時には先生方からお話を伺う機会を得て、各校の抱えるそれぞれの状況や、その中で尽力されている先生方の姿を実感することができました。

また、年度末には帰国した先生方と直接接する機会があり、お疲れの様子の中にも「やり遂げた充足感」に満ちておられる姿を拝見し、教育の最前線で奮闘される先生方を支える喜び、仕事のやりがいを強く感じた2年間でした。

海外におられる皆様のご活躍、無事を心より願っております。任期を終え帰国される日まで、体も心も健康第一でお力を如何なく發揮され、笑顔で日本に戻ってきてください。

**国際理解教育第二係長
佐藤 由郎**

4月1日付けで初等中等教育局財務課公立共済係長を拝命しました。

庶務・助成係に平成15年4月から平成18年3月、国際理解教育第二係には平成18年4月から平成20年3月と、5年間に渡る国際教育課在職中には、大変お世話になり、ありがとうございました。庶務・助成係の業務は「縁の下の力持ち」的なものが多く、今振り返ると日本人学校等で勤務されている先生方と接する機会が少なかったことが悔やまれますが、教科書無償給与制度を始めとする、様々な海外子女教育関係の業務に携わらせていただき、大変貴重な経験となりました。また、国際理解教育第二係では、英語教育の充実に関する業務に携わって参りました。施策の一つであるスーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール指定校からは、帰国児童生徒を中心にクラス全体の英語力が向上した等の報告も受けており、英語教育のみならず、国際理解教育の観点からも、海外子女教育は大きな可能性を持っているということを改めて認識させられました。先生方におかれましても、今後とも海外子女教育の充実に

ご協力をお願いします。

新しい部署は、初等中等教育局財務課公立共済係となります。今日の共済組合制度を取り巻く環境は、大きく変化してきております。特に、少子高齢化は急速に進展しており、高齢者の方々を支える現役世代の数が少なくなる中、社会保険制度維持のため、年金制度や医療制度の見直しが毎年のように行われております。

このような厳しい社会情勢の中で、全国の公立学校の教職員の皆様が、安心して職務に専念できるよう、福利厚生の充実のため、頑張っていきたいと考えています。

最後になりますが、海外子女教育に携わる多くの方々には大変お世話になりました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

企画調査係 吉光 紗綾子

平成17年10月から国際理解教育第一係で、18年4月からは企画調査係でお世話になりました。

国際教育課は、社会人として初めて配属された部署であり、まだ右も左も分からない中、仕事の進め方や社会人としてのあり方など、ゼロから教えてくれた場所でした。

国際教育課に在職した2年半の間、日本人学校の設立に関わったり、また、実際に日本人学校の様子を見せていただいたりと、他所ではできない貴重な経験をたくさんさせていただきました。

4月からは、大臣官房総務課の行政改革推進室で、地方分権や規制改革に関する業務に携わっています。

これまでの業務とは内容も大きく異なり、まだまだ戸惑ってばかりの毎日ですが、新しいことを学ぶ喜びを忘れず、日々目標をもって頑張っていきたいと思っております。

2年半の間、本当にありがとうございました。

企画調査係 近田 由紀子

文部科学省国際教育課での実務派遣研修を

終え、4月1日付けで、静岡県浜松市立瑞穂小学校に着任いたしました。

研修当初は主に帰国・外国人児童生徒教育に、後半では国際教育課全般にかかわる業務にも携わるという恵まれた環境で研修させていただきました。研修期間は1年間と短いものでしたが、ここで学んだことの大きさは図りしれず、本当に感謝しております。このことは今後の教育活動に生かしてこそ、本当の価値が高まるものと思っております。

本校学区は、住民の四分の一が外国人で、852名の児童のうち93名が外国籍、25名が外国につながる子どもたちです。国籍や言語・文化的背景も多様化が進んでいます。国際教育課で学んだことを生かして、外国人児童生徒教育及び国際理解教育の新しいモデルができるように励みたいと思っております。

また、在外教育施設の子どものうちにも、日本語教育が必要な子どもたちが増加していると聞いております。ご苦労は多々あるかと思いますが、海外での先進的な取り組みも期待しております。

最後になりますが、皆様のますますのご活躍をお祈りするとともに、心よりお礼を申し上げます。

国際理解教育第一係
野村 友里

文部科学省での研修を終え、岐阜大学学術情報部国際・研究支援課に配属になりました。数日間、大学で過ごしたのち、現在は、文部科学省のプログラムにより、米国のモンタナ州立大学で研修を行っています。

国際教育課に在職していた折は、皆様には、大変お世話になりました。おかげさまで、大学においては経験できない貴重な経験をさせていただきました。大学の業務とは直接関係ない仕事ではありましたが、いろいろと勉強になったと思います。

何かの折に、またお世話になることもあるかと思いますが、よろしく願いいたします。

本当にどうもありがとうございました。

国際理解教育第二係
池長 嘉晴

3月31日をもちまして文部科学省での地方行政実務研修を修了致しました。4月より前勤務校である福岡県立福岡魁誠高等学校に戻り、やんちゃな高校生と毎日格闘しております。

1年間の研修は実に有意義でした。特にSELHiは、煩雑な業務に音を上げながらも、大きな財産を残してくれました。ただ教育委員会の指導主事をはじめ、SELHi担当者の方々に御迷惑をかけっぱなしでした。この場を借りてお詫び申し上げます。

国際教育課のスタッフはみんな親切で、もう少し一緒にいたいと思える方ばかりでした。素晴らしい思い出を胸に、勤務校で、また福岡県の英語教育に貢献していきたいと思えます。

1年間ありがとうございました。

在外教育施設指導係
佐藤 仁美

4月1日付けで、高等教育局私学部参事官付運営調査係に異動いたしました。在職中は、大変お世話になりました。3ヶ月という短い期間でしたが、国際教育の分野に関わることができ、非常に有意義な経験をさせていただきました。改めて、世界は目まぐるしく動いているのだと、実感する毎日でした。至らない点も多く、御迷惑をおかけいたしました。御指導いただきました皆様には、心から感謝いたします。

今後は、学校法人の運営に関する支援に携わります。業務内容は変わりますが、国際教育課で学んだことを活かし、努力してまいりたいと思えます。今後とも、宜しくお願いたします。

庶務・助成係 白井 真紀

4月1日付けで、初等中等教育局初等中等教育企画課総務係に異動いたしました。

国際教育課では、平成18年4月より2年間、庶務・助成係としてお世話になりました。社会人として初めての職場で、不慣れなことも多く、皆様にはご迷惑をおかけしましたが、何とかやってこれたのも皆様に支えていただいたおかげであると、感謝の気持ちでいっぱいです。

現在は、初等中等教育局長室にて秘書業務を担当しております。初心を忘れずに、日々勤めて参りたいと思えます。

最後になりましたが、国際教育課の皆様ならびに海外子女教育に携わる多くの皆様に、この場をお借りして心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

教職員派遣係 伊藤 拓郎

3月を以て文部科学省での勤務を終え、4月から千葉県君津市役所での勤務となります。

教職員派遣係の事務補佐として国際教育課と海外子女教育に携わる諸先生方のお仕事に微力ながらも貢献できたことを嬉しく思います。僅か2ヶ月半という短期間ではありましたが、充実した経験をさせていただきました。この経験を活かすことでいつか、地方からの海外子女教育への貢献という形で皆様への恩返しができればと考えております。また、至らなかった点や幾つかの失敗に関してはこの場を借りてお詫び申し上げます。

最後になりましたが、国際教育課で働くことができた幸運と、皆様の細やかな配慮や指導に心から感謝しております。ありがとうございました。

■ ■ 就任者挨拶 ■ ■

国際教育課課長補佐 内藤 雷太

4月1日付けで、国際教育課課長補佐に就任いたしました。

海外子女教育関係の仕事は、平成10年度、11年度に当時の海外子女教育課で庶務・助成係長として勤務して以来8年ぶりとなります。

す。課の名称は変わっていますが、基本となる業務内容は、変わっていないと思います。これから、すこしでも海外子女教育、国際理解教育が発展するように努力したいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

教職員派遣係長 小寺 和宏

4月1日付で、教職員派遣係長を拝命しました小寺和宏と申します。

在外教育施設への教員派遣の歴史は、昭和37年のバンコク日本人学校への派遣にはじまると聞いています。ほぼ半世紀の歴史に、その重責を感じているところです。

十数年前になりますが、私も教員として在外教育施設に三年間勤務させて頂いた経験がありますが、海外に暮らして初めてわかる難しさがあると思います。

しかし、その壁をのりこえて教育に携わる充実感は、「難しさ」を差し引いて余りあるものです。必ずや先生方の宝物となるはずですし。

微力ではありますが、世界で活躍される先生方のお役に立てるよう頑張りたいと思っています。

何卒よろしくお願いいたします。

**専門職（外務省領事局政策課海外教育班）
安永 真生**

4月1日付けで専門職を拝命しました安永真生と申します。外務省領事局政策課に併任発令され、外務省にて勤務しております。

3月までは教科書課で教科書検定に関する仕事をしておりました。外務省での勤務も派遣教員等に関する仕事もすべて初めてのことで不慣れな部分もあろうかと思いますが、日々勉強して参る所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

教職員派遣係 新井 慶子

4月1日付けで、国立大学法人東京学芸大学より研修生として教職員派遣係に参りまし

た新井慶子と申します。

東京学芸大学では、施設マネジメント部に所属し工事契約の支払い処理等を担当しておりました。

国際教育に携わるのは、初めてのことで日々勉強になります。至らぬ点が多いとは思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

在外教育施設指導係 岩澤 亮輔

4月1日付で東京工業大学から研修生として在外教育施設指導係に参りました岩澤亮輔と申します。

東京工業大学では研究協力部産学連携課に所属し、特許をはじめとした知的財産権を管理する仕事をしておりました。

これまでと全く分野の異なる仕事で、慣れない部分もございますが、一日も早く、在外教育施設に勤務される先生方のお役に立てるよう、がんばって参りたいと思いますので、宜しくよろしくお願いいたします。

企画調査係 岡 峰生

4月1日付けで広島大学より企画調査係に参りました岡峰生と申します。

広島大学よりと書きましたが、平成17年度より独立行政法人大学評価・学位授与機構へ人事交流で出向し、機構では、学校教育法により、すべての大学が一定期間ごとに受けることが義務づけられている認証評価の事務を担当しておりました。

今まで初等中等教育に携わったことがなく、不安は多いですが、皆様のお役に立てるよう精一杯取り組んで参りますので、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

国際理解教育第一係 是國 裕光

4月1日付けで、広島大学から研修生として国際理解教育第一係に参りました、是國裕光と申します。広島大学では、学生さんと接しながら、教務や入試を主に担当してきました

た。

先日、在外教育施設派遣教員辞令交付式に受付等で参加させていただきました。先生方のとてもすがすがしい姿が印象的で、門出の時に立ち合わせていただけたことを非常にうれしく思っております。

国際教育課での業務は、私にとって新しい発見の連続です。微力ながら少しでも皆様のお役に立てるよう、一生懸命頑張りますので、よろしく願いいたします。

庶務・助成係 水流 妙子

4月1日付けで庶務・助成係に参りました水流妙子と申します。

3月までは児童生徒課企画係に所属し、学校図書館司書教諭講習修了証書の交付や、学校図書館に係る現状調査と推進事業に携わっておりました。

社会人2年目とまだまだ未熟で至らない点も多いかと思いますが、新たな経験や出会いを大切に少しでも多くのことを吸収していきたいよう努力していきたいと思っておりますので、ご指導のほど宜しくお願い致します。

「海外学校説明会・相談会」の開催について

海外子女教育振興財団

海外子女教育振興財団では、毎年5～6月に、海外各地において「海外学校説明会・相談会」を開催しております。

会場では、帰国子女受け入れ校の担当者が、各校の指導方針・授業・課外活動などの特色や、選考方法・時期・応募資格などについて説明を行い、お子さんや保護者からの具体的な質問にもお答えいたします。

2008年度は、次の3地域（9都市）にて行い、各地域とも、国内の帰国子女受入校である小学校・中学校・高等学校6～8校が参加いたします。

日時と会場は次のとおりです。

● 北米地域

5月

- ・ 17日（土） 10：00～14：30
サンフランシスコ補習授業校サンノゼ校
- ・ 18日（日） 10：00～16：00
ホリデーイン トーランス（ロサンゼルス市内）
- ・ 20日（火） 13：30～17：30
シカゴ日本人学校・補習授業校

● アジア地域

5月

- ・ 30日（金） 13：30～18：00
香港日本人学校中学部

6月

- ・ 1日（日） 9：00～14：00
バンコク日本人学校
- ・ 3日（火） 13：15～16：30
ホーチミン日本人学校・補習授業校

● 欧州地域

6月

- ・ 13日（金） 13：30～18：30
ロンドン日本人学校
- ・ 14日（土） 13：00～17：30
ロンドン補習授業校
- ・ 16日（月） 13：00～17：00
デュッセルドルフ日本人学校
- ・ 18日（水） 9：55～13：30
ブラッセル日本人学校

各会場とも参加申し込みが必要です。

詳細は財団ホームページを参照ください。

<http://www.joes.or.jp/>

(財) 海外子女教育振興財団

情報サービスチーム

E-mail sanka@joes.or.jp

TEL +81-3-4330-1349

FAX +81-3-4330-1355

医療補償制度・異動届の提出について

海外子女教育振興財団

本医療補償制度に加入されている派遣教員

等ご本人並びに帯同ご家族に異動があった場合は、できるだけ速やかに（遅くとも異動のあった月の月末までに）異動届をご提出ください。

赴任後に「ご家族を呼び寄せされる」「夏季休暇で一時帰国される」、また「一時帰国から赴任地に戻られる」等事前に日程がお決まりになった際や、「赴任地でお子さんが出生された」際には直ちに異動届をご提出ください。

財団の異動届は、文部科学省の異動届とは別フォームになっております。財団ホームページ

URL <http://www.joes.or.jp/josei/iryo.htm>よりダウンロードが可能となっております。

国際教育課「気球船」編集部

本誌へのご意見、ご感想をお待ちしています。下記までご連絡ください。

連絡先:E-mail:kokukyo@mext.go.jp

こちらも随時募集中です。

- 投稿記事
(原稿料は出ません。ご了承ください。)
- 新規配信依頼

編集後記

先日、国内の小・中学校へ視察に行き、外国人児童生徒が1名いる学級での授業を拝見しました。外国人の子どもは、日常会話は少しずつできるようになってきているものの、授業で使われる学習言語の習得までには至っていない状況でした。先生は、写真等具体物を用いたり、動作や言葉を補って説明する等、外国人の子どもが理解しやすいように授業を工夫されていました。しかし、それは、外国人の子どもだけでなく、日本人の子どもたちの理解を深めるためにも役立っており、子どもたちは「わかった！」「おもしろい！」と目を輝かせて言っていました。一人一人の子どもに温かい眼差しを注ぎ、工夫した授業をしていらっしゃる先生方に、私は尊敬の念を抱きました。日本語指導が必要な子どもたちの教育に対し、各地で様々な取組がなされていることを知るにつけ、この仕事に携われたことへの感謝の気持ちが大きくなっていっています。

今年度が始まりました。気持ちを新たに業務に励んで参りたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

最後になりましたが、今月号の気球船は、適応・日本語指導係、企画調査係が担当しました。



～～4月号の内容～～

世界の窓 _____ 1

○パリ日本人学校

トピック _____ 3

- 杭州日本人学校第一回入学式 ----- 3
- 深圳日本人学校第1回入学式を迎えて --- 4

事務連絡 _____ 6

○国際教育課の体制について ----- 6
庶務・助成係

○人事異動のお知らせ ----- 7
庶務・助成係

- ・ 退任者挨拶 ----- 8
- ・ 就任者挨拶 ----- 11

○海外学校説明会・相談会の
開催について ----- 13
海外子女教育振興財団

○医療補償制度・異動届の
提出について ----- 13
海外子女教育振興財団